

江南市立古知野中学校

< 1 月 1 7 日 > (理科)

前扶桑町教育長、河村共久先生をお招きして、初任者による授業についてご指導をいただきました。

生徒が自ら気づき、互いの考えを伝え合うようにするにはどのような手だてがよいか、また、基本的な実験の仕方、そして、理科教師の心構えも含めて細部にわたって丁寧な指導をしていただきました。この中で以下のことを学びました。

- 1 「互いの考えをつなぐ」という授業スタイル
- 2 理科で学ぶ内容と実体験とのリンク



< 1 月 1 8 日 > (道徳)

元岡崎市立根石小学校長、松井伸市先生に「道徳の時間」の模範授業を行っていただきました。すべての生徒を受容しながら、ねらう価値観について丁寧に語りかけ、多様な価値観を引き出されました。

そして、授業終了後の指導講話の中で、授業を振り返りながら授業の進め方のポイントについて具体的に教えていただきました。

- 1 資料分析の大切さ。この時間の中で何を考えるのかを明確にする。
- 2 導入部分の大切さ。目標に対する布石としての導入の仕方が望ましい。
- 3 読み物資料の提示方法は資料そのもののもつ力を利用する。
- 4 発問は多くても3つ。最大4つ。発問に統一性をもたせる。

